

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS 大口校		
○保護者評価実施期間	R6年7月23日		～ R6年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和6年7月23日		～ 令和6年8月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・基準人員以上に職員配置がされていること。	・基準の人員配置を正しく行っています。 ・職員の募集を常にしています。 ・働きやすい環境を作ること意識しています。	・左記の事を継続して行うとともに、さらに充実させたいと思います。
2	・原始反射の統合を目指した専門的な療育を行っていること。	・アセスメントを基にお子様にあったプログラムを用意しています。	・お子様に合った新しいトレーニングの開発をこれからも積極的に行っていきます。
3	・楽しく通っていただいているお子様が多いこと。	・個別での支援を行っているため、お子様に注目し支援を行っています。	・職員の知識をつけることで、よりよい支援に繋げていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援の様子が見えていただけていないこと。	・療育中の様子を保護者様に見てもらおうとお子様の集中力が途切れる可能性がある為、現状は見えていただけない様になっています。	・療育中の様子を見ていただけるように、カメラの設置を検討しています。
2	・きょうだい支援、家族支援が不十分なところ。	・きょうだい支援に関しましては、イベントの時にきょうだいの参加も承っております。 ・イベントなどに参加していただいた保護者様はその時に交流をしていただいております。しかし、交流の機会を前面に押し出していなかったこともあり認知されていなかったこともあるかもしれません。	・イベントは交流の場でもあると事を周知し、必要に応じて内容を充実できるようにしていきます。
3	・相談する体制の整備や相談時の対応について。	・利用児童が多いため、保護者様ひとりひとり相談できる時間の確保や他の業務に時間を取られ迅速に対応できていないのかもしれないかもしれません。	・急な相談事はすぐに対応できないことがあるかもしれませんが、事前にお声掛けいただけるように周知します。また、相談事についても迅速に対応できるように職員全員でスピード感をもって行っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDS 大口校

公表日 令和6年 9月 12日

利用児童数 令和6年 8月 1日 11人 回収数 10

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	2				・限られたスペースでも、教具の置く位置を工夫しながら広く使えるように考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10				・一対一で丁寧に関わってもらっている。	・基準人員以上の配置ができています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1	・療育の様子を見る機会がほとんどないので一度見て見たい。	・療育の様子を見て頂けるようにカメラの設置を検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1				・毎日掃除・消毒・整理整頓を行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					・原始反射の統合を目指した専門的な療育を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					・支援プログラムが公表されていないので、今後公表させていただきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					・保護者様やお子様からお話を聞かせていただき、サービス等利用計画書を土台として計画の作成を行っています。また、作成時には全職員で計画を検討する時間を設けています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					・「家族支援」、「移行支援」に関しては今年度より計画書に記載する事となりました。そのため、試行錯誤しながら今以上に充実した内容になればと思います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					・計画書に沿った支援をさせていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					・プログラム構成が被らないように、工夫しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	4	3	・個別療育のため、特に必要と感じない。	・必要とのお声があれば検討していきます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					・丁寧に説明させていただいております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					・計画書を作成した時に、しっかり説明させていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1			・家族支援プログラムは、必要に応じて検討していきます。 ・これからも保護者様が参加できる研修のアナウンスをしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					・保護者様と直接お話をさせていただく中で、情報の共有をし、共通理解ができるようにしていきます。また、公式LINEも活用していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					・定期的な面談を行っています。 ・何かお困りごとがあればいつでもご相談下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					・これからも、共感的に保護者様や利用者の心情等を理解し、支援を行っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	9		1			・きょうだい支援に関しましては、イベントの時にきょうだいの参加も承っております。 ・イベントなどに参加していただいた保護者様はその時に交流をしていただいております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	2		4	・急な相談事はすぐに対応できないことがあるかもしれませんが、事前にお声掛けいただけるように周知します。また、相談事についても迅速に対応できるように職員全員でスピード感をもって行っていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				・今後も意思の疎通や情報の伝達を心掛けていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1			・Instagramにて活動などの様子を投稿しています。 ・必要に応じて公式LINE等でお便りを発行しています。 ・自己評価の結果は、S.I.C.KIDSのホームページやWAM NETで公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1	・鍵付きの書庫に保管し、十分注意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1			・マニュアルは待合に閲覧できるように用意してあります。 ・必要に応じて説明もさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			1	・年に2回実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				・安全確保計画はいつでも閲覧していただけるように、待合に置いてあります。 ・必要に応じて説明もさせていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				・事故があった際は、まず保護者様に連絡をさせて頂いております。 ・現場を見てもらいながら状況の説明もさせて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				・人見知りがある子がここでは楽しく色々なコーチと関わることができています。 ・個別での対応が合っているのかもしれないですね。今後も安心感を持って通所していただけるようにしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				・とても楽しみに通っている。 ・ありがとうございます。今後も楽しんで通っていただけるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				・現状に甘んじることなく今以上に満足度を上げていけるように努力していきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	S.I.C.KIDS 大口校			公表日	令和6年 9月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用児童によって、教員の場所を変えたりしています。	・今後も柔軟な発想で決められたスペースの中でもより良く活動できる様に工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・規定に準じた職員数を配置しています。 ・変更があればお伝えしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・分かりやすく構造化されている場所もあります。	・本校は階段を上って2階になるので、バリアフリー化は構造上難しいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除をしています。 ・年に2回大掃除をしています。 ・利用児童にわかりやすいように、整頓をしています。	・これからも毎日掃除・消毒・整理整頓を行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・利用児童の様子などに合わせて、別の部屋を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・利用児童に良い支援ができるように業務改善を行っています。 ・改善点がないか常に意識し業務を行っています。	・職員会議の時に話す場を設けています。当日休みの職員は後日書面で確認しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様から提出いただいた評価表を見て業務の改善を行っています。	・引き続き業務改善を意識しながら業務を行っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員間で話し合いをする時間を作り、業務の改善につなげています。	定期的な面談を行い、職員の意見を聞いています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/	・外部からの評価を受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内の研修や外部研修に参加しています。	・今後も積極的に研修に参加し知識を深めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・個々の利用児童に合わせてプログラムの作成を行っています。	・個別支援計画書を基に、支援プログラムが作成されています。今後公表していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者様からお話を聞き、ニーズや課題に合わせて、支援計画書の作成をしています。	・原始反射のチェック表を使い適切にアセスメントもしています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者が作成した計画書を基に全職員で話し合い支援を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個々の利用児童の支援に使用するファイルに支援計画書のコピーを貼り、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントや職員間で情報を使用して確認しています。 ・S.I.C独自のアセスメントシートや原始反射のチェックシート、サービス等利用計画を使いお子様の適応行動などを把握しています。	・フォーマットの改善をこれからも行っていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容が設定を行っています。	・今年度より計画書に記載する事となりました。そのため、試行錯誤しながら今以上に充実した内容になればと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員で話し合っています。	・時間の確保が難しいので、これからも業務の改善を行っていきます。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・プログラムの内容を変更したり、新しいプログラムを作成しています。	・新たなプログラムの開発をこれからも行っていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別で支援を行っているため、集団での活動は行われていません。	・集団に適應できる土台を作っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝ミーティングで話をしています。当日、前日の利用児童について、話し合いを行っています。	・ミーティングの方法も常に変化させ、より良い方法を模索していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了時には行わず翌日行っています。気付いた点は、全職員共有しています。	・ワークライフバランスの観点から残業時間の削減に取り組むことで、心身ともに健康な状態になることで、より良い支援ができるように心掛けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎回、支援終了後に記録を記入しています。それを元に話し合いをします。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度計画の見直しをしています。 ・必要に応じて半年よりも短い期間で計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・可能な限り毎回参加しています。 ・会議の前に職員間で話し合いを行います。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて、関係機関と話をし連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・全員が社会に参加できるように支援を行っています。情報共有は必要に応じて行います。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・現在は行っていませんが、保護者様の希望に添って情報共有を行います。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	・地域の児童発達支援センターとの連携はありません。	・児童発達支援センターとの連携は必要に応じて行います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現在交流はありません。	・現在交流など行っていません。必要に応じて検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援終了後に保護者様とお話をし、情報共有をしています。	・ご説明をする時は、今以上にわかりやすく説明できるように工夫していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・本部が主催する保護者セミナーを行っています。 ・研修等があればアナウンスさせていただきます。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・保護者様が分かるように様に説明をしています。	・ご説明をする時は、今以上にわかりやすく説明できるように工夫していきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・支援計画書を作成する際は保護者様と話をする場を設け、作成しています。お子様には療育中に意向を聞いています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・支援計画書を作成した後は、必ず説明を行い同意いただいています。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・半年に一回面談を行っています。その他に、保護者様から要望があればその都度面談を行っています。	・悩み等を相談していただける体制を常に取っていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・イベントを定期的に行っています。その際は利用児童やごきょうだい、保護者様なども参加できるように案内しています。	・保護者様同士で交流する機会を設けているわけではありませんが、イベントに参加していただいて交流を深めて頂ければと思います。 ・要望を傾聴しながら検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談があった際はできるだけ迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・インスタを活用して、様子等を投稿しています。 ・公式LINEを使い行事等の予定をお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・使用後は鍵付きの書庫で保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子様の発達に合わせて、可能な限り配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・地域の方を招待する行事は行っていません。	・保護者様のニーズに寄り添って検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・発生を想定した訓練を行っています。 ・マニュアルは待合に置いてありいつでも閲覧できるようにしてあります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPの作成は行っています。 ・年に二回訓練を行っています。	・BCPの訓練に関してはたまたま準備中です。今年度中には訓練を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬については、事前に保護者様からお話があります。 ・てんかんの発作がある児童の利用がありません。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			・食事の提供はありません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画の作成はできています。 ・研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・避難訓練を行う際は事前にお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内で共有しています。	ヒヤリハットの報告頻度をもう少し上げていけるといいと考えます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・偶数月や新人職員が入った月に必ず研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・支援計画書に記載し、説明時に必ずお伝えしています。		